
改方学園卒業式

沖稻架基真

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

改方学園卒業式

【Zコード】

Z7610A

【作者名】

沖稻架基真

【あらすじ】

改方学園の卒業式が終わった後の、平次と和葉の話です。

平次＆和葉サイド（前書き）

平次が「」の日の朝、和葉に「話があるから、卒業式終わったら残つておけ」みたいなことを告げます。

平次＆和葉サイド

「平次！」

「おう！どないしてん。和葉。」

「あんな？あの…。」

「何やねん…。」

「卒業おめでとう。」

「なんでやねん…。」

「せやかで、平次、留年するかもわからん位欠席数多かつたんやもんつ」

「そないな」と言ひなや…。もつ、卒業したやないか…。」

「卒業か…。」

「卒業したいんやけど。」

「…は？」

「オレとお前の幼馴染といつ名前から。」

「…えつ？」

「オレと、付き合つて欲しいねん…。」

「…つ／＼ホンマに…？」

「今まで一緒におったんに、大学入つたら、バラバラになるやん…。」「え？」

「ガキン頃から、お前の事、好きやつた…。」

「ガキン頃つて？」

「…、小3の時や。」

「…、それつて…つ。」

「せつや。」

「大事にしてくれるる？」

「当たり前やろ？」

学校の帰り道、後輩と同学年と先輩に一人が手を繋いで帰ったのを見逃した人は一人もいなかつたらしい！

平次＆和葉サイド（後書き）

このあとは、平次と和葉が大学生になったその後を書こうかなあと
思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7610a/>

改方学園卒業式

2010年10月12日00時55分発行